

## 平成30年度 南大阪地域大学コンソーシアム インターンシップ参加者募集！

就職課

大阪大谷大学も会員となっている大学連合体「南大阪地域大学コンソーシアム」がインターンシッププログラムを実施します。このインターンシッププログラムでは、夏休み期間中の3日間から1カ月間（※期間は受入先による）、働いてみたい企業や自治体で実際に仕事を体験することを通じて、1回生と2回生の皆さんは視野を広める、3回生の皆さんは就職活動を目前にして、将来、どのような仕事（業種・職種）に就きたいのか、自分の長所や短所とは何かを改めて考えるチャンスを得ることができます。

この機会に、インターンシップに参加してみようという学生の皆さん（1回生・2回生・3回生対象、学部は問いません）は以下の要領でエントリーシートを提出し、チャレンジしてください。

### ステップ1

堺経営者協会HP（<http://www.sakai-keikyo.org/internship/>）に掲載している「H30年度インターンシップ受入企業・団体一覧」を見て、インターンシップに行きたい企業・自治体を探し、その企業・自治体の実習期間や場所、受入条件（面接を行うところ、理系学生のみを受け入れるところもある）等を確認してください。また、昨年度の実施内容は「平成29年度インターンシップ受入企業・団体一覧」のプログラム欄を参照してください。

### ステップ2

希望先の企業・団体が見つければ、インターンシップエントリーシートに必要事項を記入していただきます。インターンシップエントリーシートは、求人検索NAVIからダウンロードするか、就職課で受け取ってください。しっかり考えて、大学生として相応しい文章で記入してください。なお、エントリーできるのは1人1企業（団体）です（※注）。  
さらに、申込後の変更および辞退はできません。

※注 泉州9市役所のみ、第1希望～第3希望を申し出ることができます。泉州9市とは「堺市・高石市・和泉市・泉大津市・泉佐野市・泉南市・貝塚市・阪南市・岸和田市」であり、この中から第3希望まで選択することができます。泉州9市役所を希望する場合はインターンシップエントリーシートに加え、泉州9市志望動機書の提出も必要になります。

### ステップ3

インターンシップエントリーシート（※）を書き（**手書きで記載し、写真は添付せず、大学名と氏名を明記したうえで、提出してください。**）、各自ゼミの先生に添削をしてもらった後、就職課に5月18日（金）17:00までに提出してください。

※泉州9市役所を希望される方は、インターンシップエントリーシートと泉州9市志望動機書の2種類を提出してください。

## ステップ4

5月23日(水)の昼休みに就職課で就職指導室長および就職課長による面接を行い、大阪大谷大学生として相応しい学生を推薦します。面接では明確な目的、言葉遣いなどのマナーなどを確認します。面接の際に、インターンシップエントリーシート(※泉州9市役所を希望される方は志望理由書も含みます。)の加筆・修正を求められた学生は、書き直して5月28日(月)17:00までに就職課に再提出をしてください。なお、推薦はインターンシップの決定ではありません。

## ステップ5

選考は、企業・団体がインターンシップエントリーシートにて行います(※)。結果の連絡は、6月中旬ごろにインターンシップエントリーシートに記載されたメールアドレスに連絡をします。

※一部企業で、大阪府選考があります。大阪府選考を行う企業は、「堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会 平成30年度 インターンシップ受入企業・団体 業種別一覧表」の備考の欄に注意書きがあります。大阪府選考の企業については、企業選考ではなく、大阪府がマッチングを行います。

## ステップ6

インターンシップ参加前に誓約書を作成します。参加者自身が直接企業・団体に持参します。詳細の手続きの方法については、就職課から参加者に連絡を入れ、お伝えします。また、実習日誌もお渡しします。

## ステップ7

インターンシップに参加します。終了後、**就職課に実習日誌を提出していただきます。**また、堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会ホームページ上にて掲載されるアンケートに回答していただきます。

インターンシッププログラムを受講する学生は、6月30日(土)9:30~12:30に就職課が実施するインターンシップマナー研修にも参加していただきます。リクルートスーツ着用です。

よくある質問

**Q1:** インターンシップマナー研修への参加は絶対ですか？

**A1:** はい。受入先の企業や自治体の方々には忙しい中にもかかわらず、学生を受け入れてくださいます。基本的なビジネスマナーや心構えを確認してからでなければインターンシップに行くことはできません。

**Q2:** インターンシップはアルバイトと違うのですか？

**A2:** はい。インターンシップの受入先の中には、普段、学生のアルバイトを受け入れていないところ（例えば自治体）もあります。また、アルバイトを雇っている企業などでも、アルバイトでは覗くことのできない場所（例えば、店舗や工場ではなく本社など）での勤務を体験することができます。

**Q3:** どんな業種の受入先企業があるのですか？どのくらいの期間、行くのですか？

**A3:** 製造業からホテルまで、商社からコンサルタント会社、地方自治体まで幅広い業種の受入先があります。詳細は受入先リストを参照してください。また、インターンシップ期間も3日間から一カ月まで、受入期間によって異なりますので、必ず確認してください。

**Q4:** 受講料を支払わなければいけないのですか？

**A4:** いいえ。ただし、オリエンテーション会場や実習受入先企業・自治体までの交通費や昼食代は自分で負担する必要があります。

**Q5:** エントリーシートにある「自己PR」「志望動機」がうまく書けないのですが…。

**A5:** ゼミ先生や親などまわりの大人に尋ねて、これを機に自分の長所や短所をより深く自覚するとともに、他の人にも伝わる文章が書けているのか、確認してみましょう。企業・団体の選考資料になりますので、何度も見直しながらか作成するようにしましょう。

**Q6:** どうしても日程変更のできない用事（例えば、クラブの試合）で、インターンシップを2～3日抜けないといけないのですが…。

**A6:** 受入企業や自治体の方々には普段の業務で忙しい中にもかかわらず、学生がご自分たちの仕事全体を理解できるよう、インターンシッププログラムを組んでくださっています。詳細リストに「相談に応じる」という記載があるところ以外では、残念ながら、個別の事情に合わせた対応は困難です。